

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

**警告**

- ウォールは転落防止を目的とした防護柵や歩行補助を目的とした手すりとしては使用しないでください。思わぬ事故につながりケガをするおそれがあります。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の施工業者による施工をお願いします。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、下記事項をお守りください。
・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後ゆびが確認してください。
φ4ネジ：2.0N・m ± 0.5N・m (20±5kgf・cm)

**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように600mm以上離して施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>

注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

注意

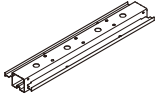
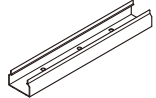
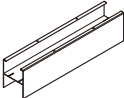
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 指定基礎寸法は必ず守ってください。

ポイント

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

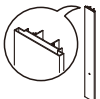
■梱包明細表

【1】 枠材セット

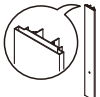
名 称	略 図	員 数		
		H12	H15	H18
横枠		12	15	18
横枠 笠木連結用		1	1	1
横枠ベース		1	1	1
縦枠		36	45	54
【1-1】 φ4×13サラドリルネジ		50	62	74
【1-2】 φ4×13ナベドリルネジ		4	4	4
【1-3】 φ5×30ナベタッピンネジ3種		48	60	72

※【1-1】は2本予備になります。

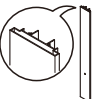
【2】 端柱セット (H12用)

名 称	略 図	員 数
柱 端部用 (注意シールあり)		1
柱 端部用 (注意シールなし)		1
アンカー棒		2
取扱説明書<UB014>	—	1
取付説明書<B085>	—	1

【4】 端柱セット (H18用)

名 称	略 図	員 数
柱 端部用 (注意シールあり)		1
柱 端部用 (注意シールなし)		1
アンカー棒		2
取扱説明書<UB014>	—	1
取付説明書<B085>	—	1

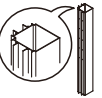
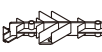
【3】 端柱セット (H15用)

名 称	略 図	員 数
柱 端部用 (注意シールあり)		1
柱 端部用 (注意シールなし)		1
アンカー棒		2
取扱説明書<UB014>	—	1
取付説明書<B085>	—	1

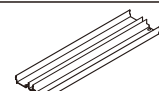
【5】 中間柱セット

名 称	略 図	員 数
柱 中間用		1

【6】 コーナーセット

名 称	略 図	員 数
柱 コーナー用		1
笠木キャップコーナー用 下		1
笠木キャップコーナー用 上		1
【6-1】 φ4×10トラスタッピンネジ2種		2

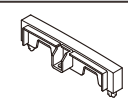
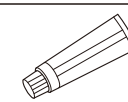
【7】 笠木セット

名 称	略 図	員 数			
		L1800	L4000	W05	W10
笠木		1	1	1	1
笠木ベース		1	1	1	1
【7-1】 $\phi 4 \times 15$ ナベタッピンネジ2種		10	20	4	6

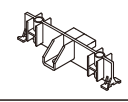
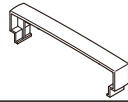
【8】 ブロックセット

名 称	略 図	員 数	
		1個入り	12個入り
有孔ブロック		1	12

【9】 端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
笠木キャップ 端部用		2
接着剤		1
【9-1】 $\phi 4 \times 10$ トラスタッピンネジ2種		2

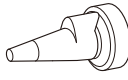
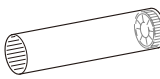
【10】 笠木継手セット

名 称	略 図	員 数
笠木キャップ 中間用 下		1
笠木キャップ 中間用 上		1
【10-1】 $\phi 4 \times 10$ トラスタッピンネジ2種		2

【11】 大形建材用弾性接着剤

名 称	略 図	員 数
大形建材用弾性接着剤 (EGR-B)		1

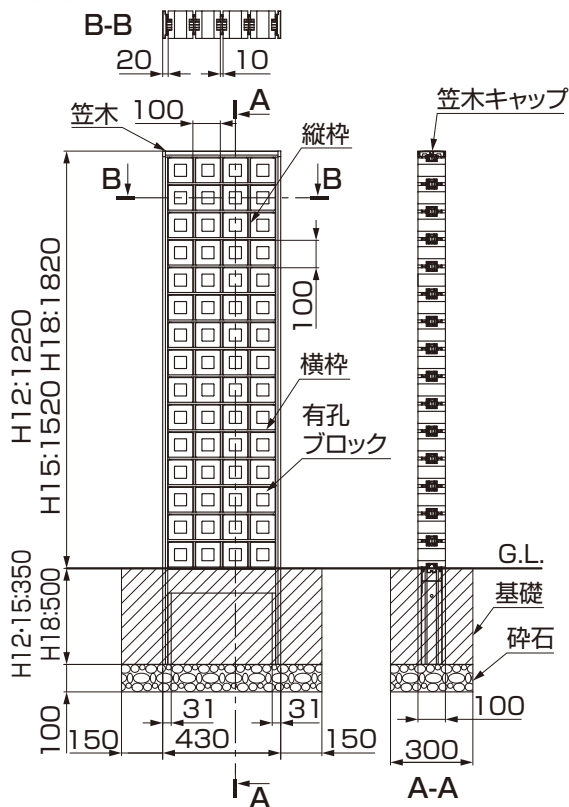
【12】 接着剤用アダプターノズルセット

名 称	略 図	員 数
クリーンアダプタ		1
クリーンノズル		2
クリーンホルダー		1

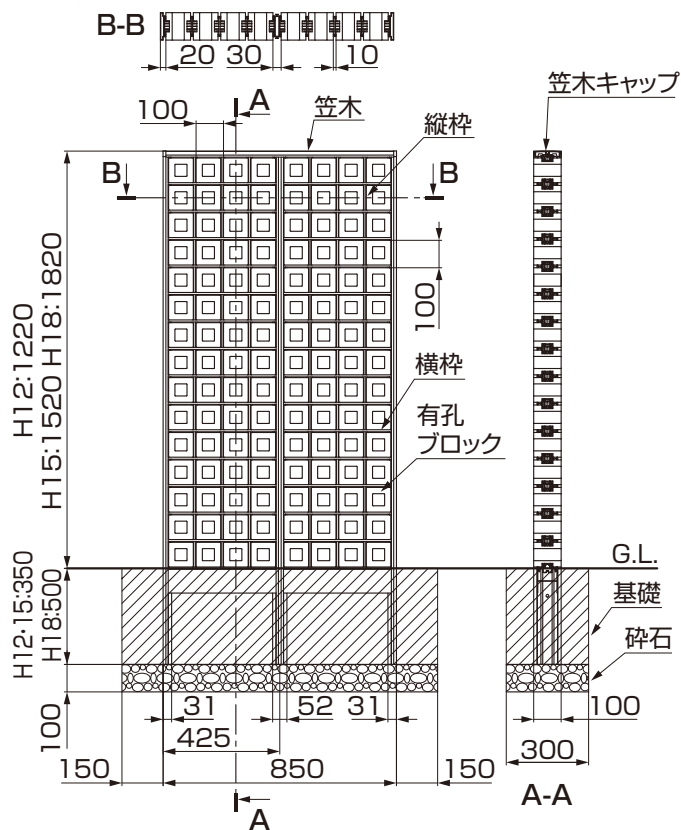
1. 基本寸法と各部の名称

1-1 標準納まり

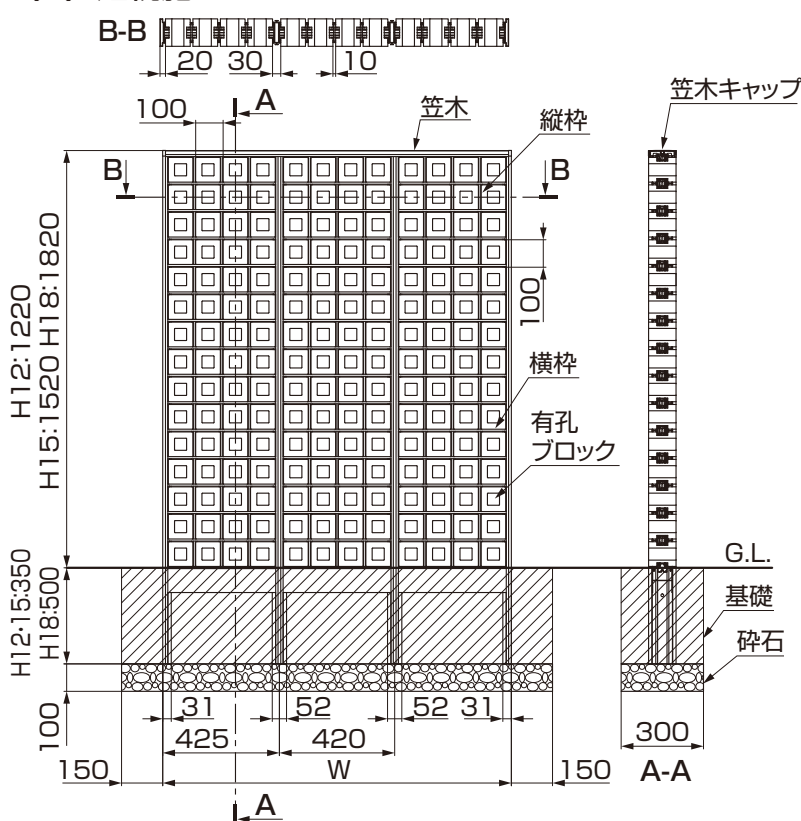
(1) W05



(2) W10



(3) 連続施工

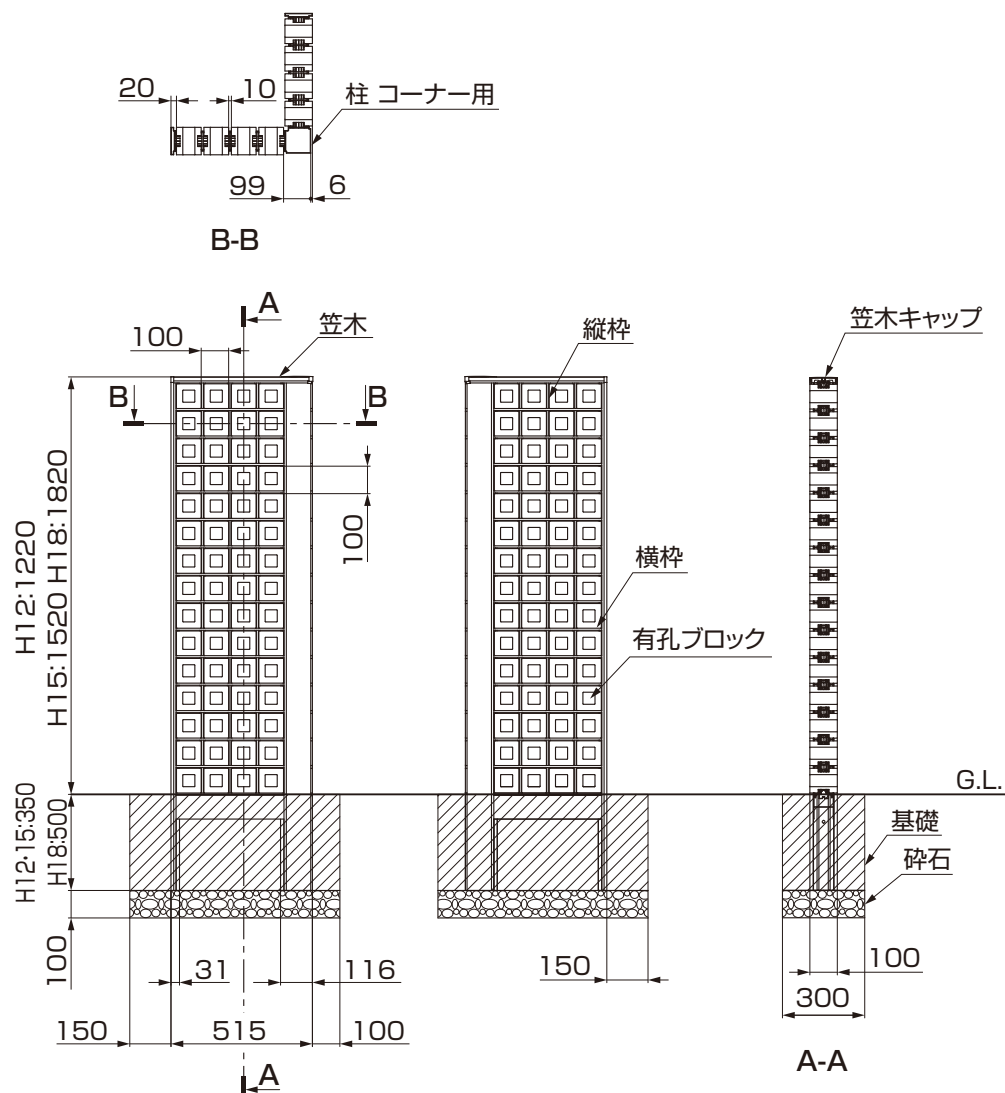


ポイント

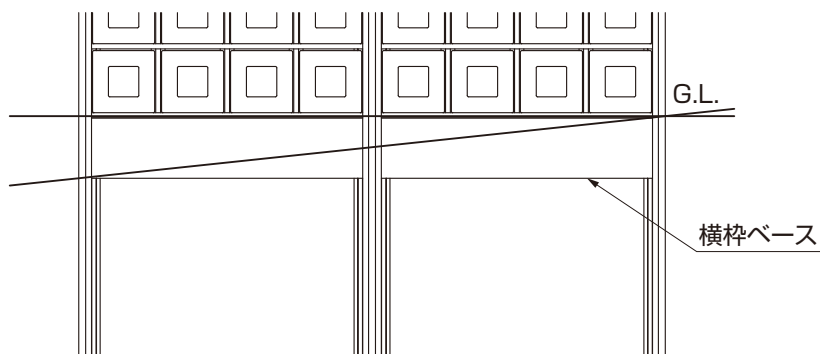
- $W = 420 \times \text{スパン} + 10$
- 1スパンはW05サイズとなります。
W10は2スパンとなります。

1. (つづき)

1-2 コーナー納まり ※図はW05の場合を示します。



1-3 水こう配



ポイント

●水こう配は横枠ベースの範囲で施工してください。

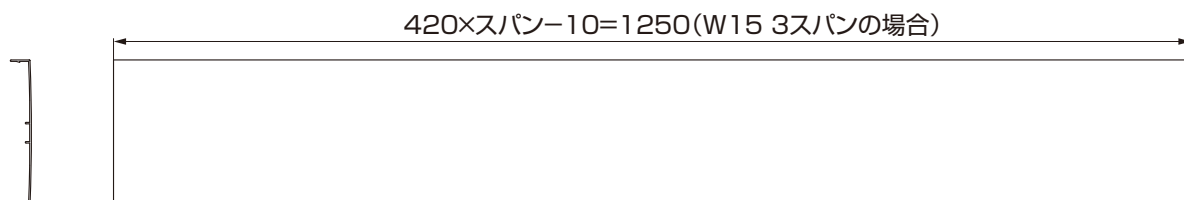
2. 基礎施工前の準備

2-1 笠木の加工

(1) 連続納まりの場合 (W15~W45)

W05・W10の笠木を使用しない場合 ※図はW15 3スパンの場合です。

【笠木】



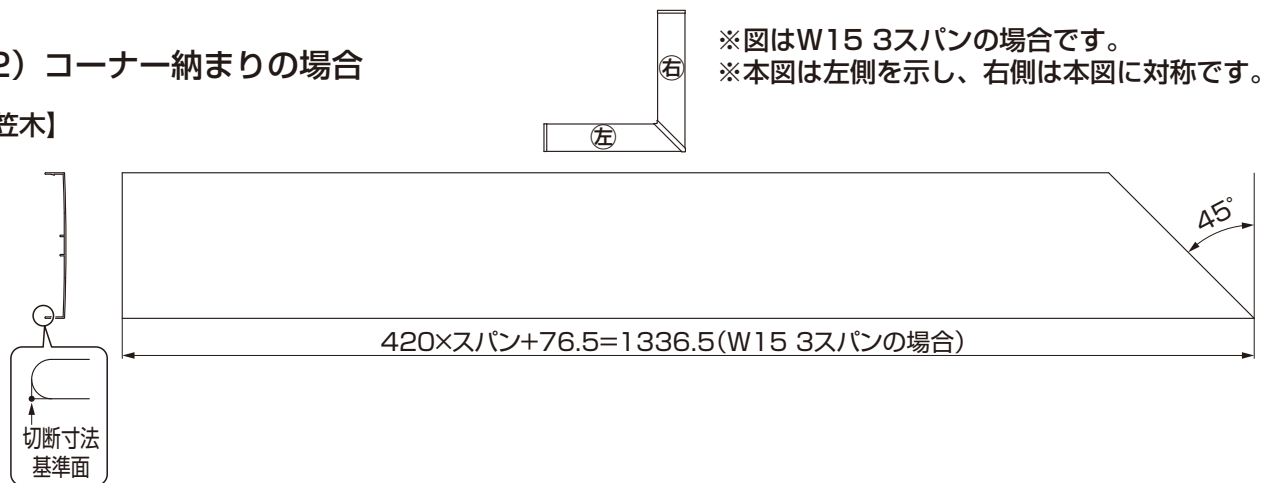
【笠木ベース】



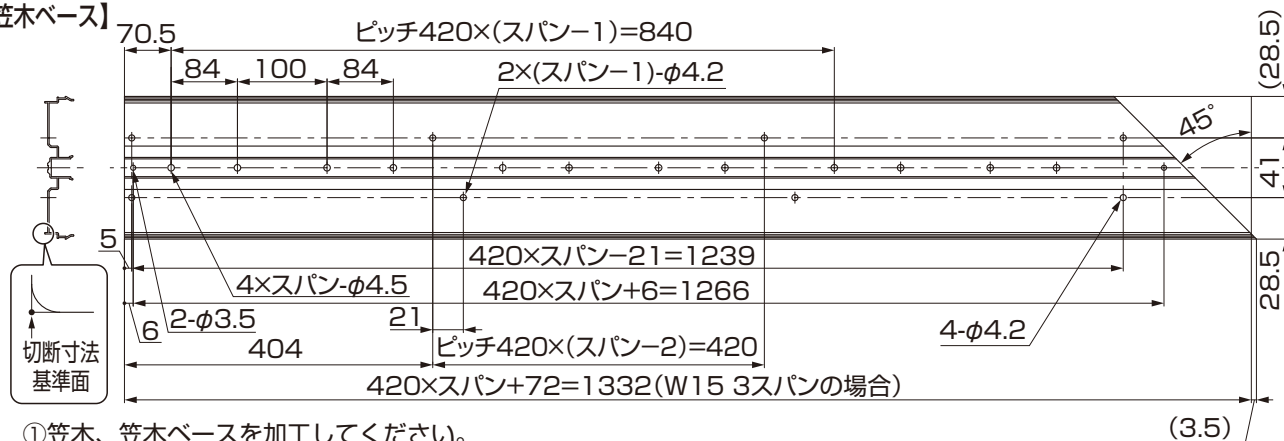
①笠木、笠木ベースを加工してください。

(2) コーナー納まりの場合

【笠木】



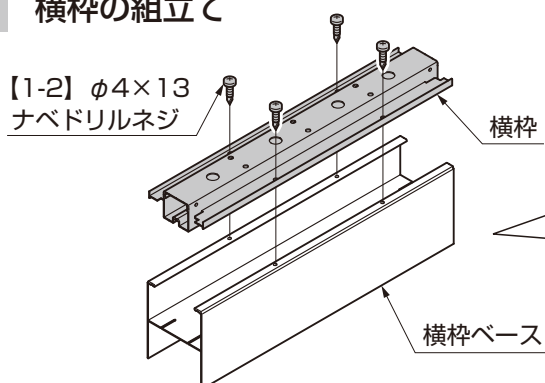
【笠木ベース】



①笠木、笠木ベースを加工してください。

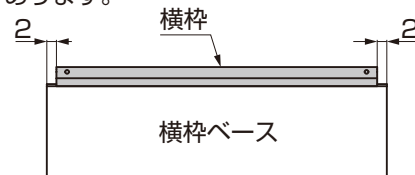
2. (つづき)

2-2 横枠の組立て



ポイント

- 横枠と横枠ベースには、2mmの段差があります。



①横枠を横枠ベースに【1-2】で取付けてください。

2-3 横枠と柱の組立て

(1) 標準納まりの場合

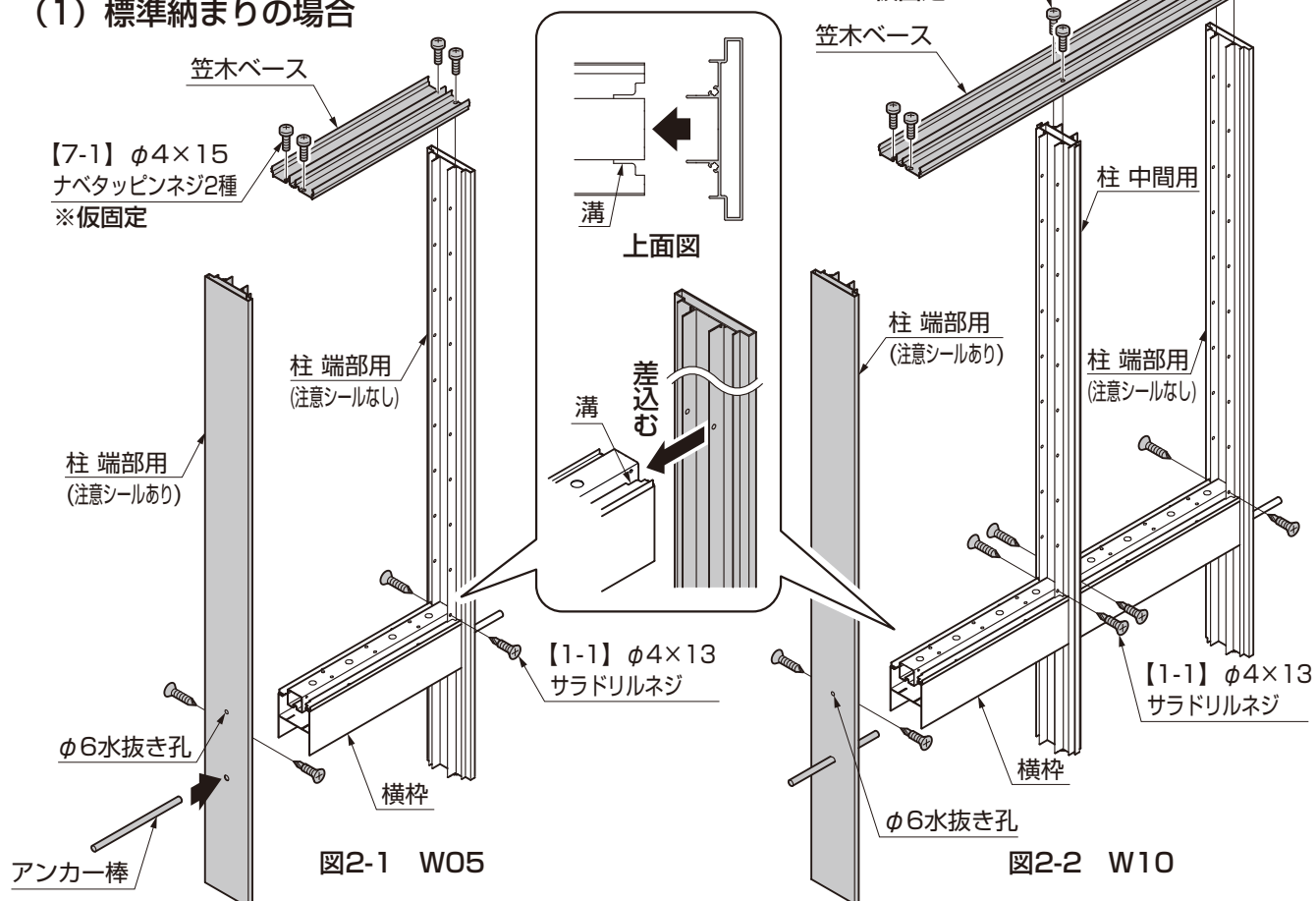


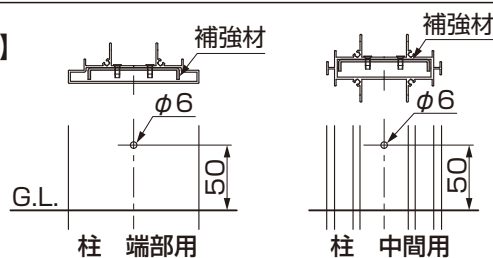
図2-1 W05

図2-2 W10

ポイント

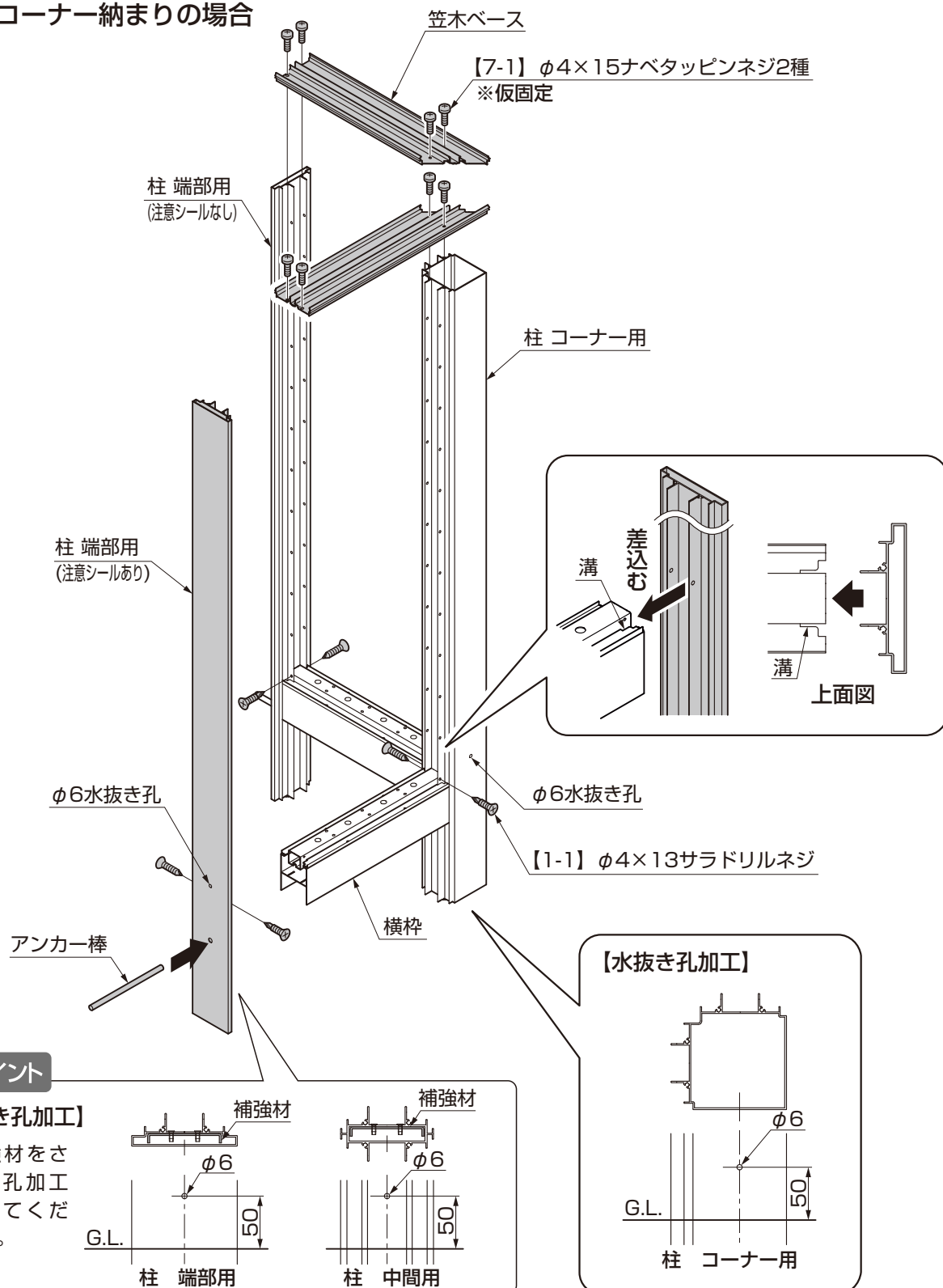
【水抜き孔加工】

- 補強材をさけて孔加工をしてください。



- ①柱にφ6の水抜き孔加工をしてください。
- ②柱 端部用にアンカー棒を取付けてください。
- ③柱 端部用（または中間用）を横枠の溝に差込み、【1-1】で固定してください。
- ④笠木ベースを柱に【7-1】で仮固定してください。

(2) コーナー納まりの場合



- ① 柱に $\phi 6$ の水抜き孔加工をしてください。
- ② 柱 端部用にアンカー棒を取付けてください。
- ③ 柱 端部用(またはコーナー用)を横枠の溝に差込み【1-1】で固定してください。
- ④ 笠木ベースを柱に【7-1】で仮固定してください。

3. 基礎工事

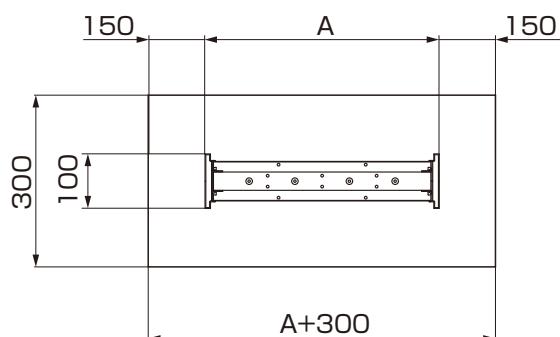


図3-1 標準納まり

表3-1

サイズ	A
W05	430
W10	850
連続	420×スパン+10

ポイント

- 基礎の打設は作業スペースを十分考慮して打設してください。
- 1スパンはW05サイズとなります。W10は2スパンとなります。

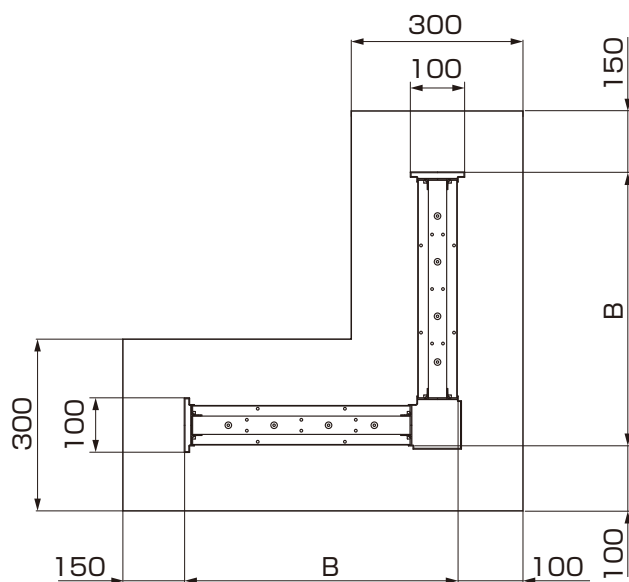


図3-2 コーナー納まり

表3-2

サイズ	B
W05	515
W10	935
連続	420×スパン+95

ポイント

- 基礎の打設は作業スペースを十分考慮して打設してください。
- 1スパンはW05サイズとなります。W10は2スパンとなります。

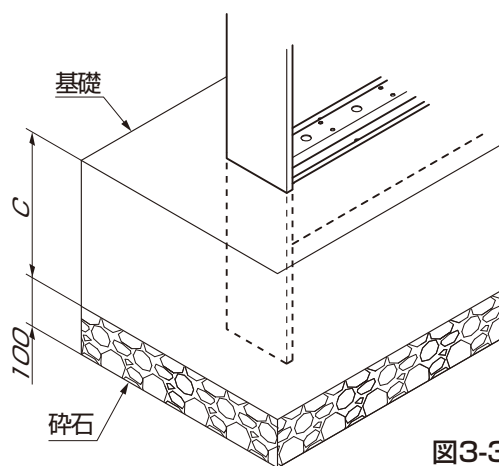


図3-3 基礎深さ

表3-3

サイズ	C
H12	350
H15	350
H18	500

- ①基礎を掘り、砕石を敷いてください。
- ②枠を基礎に建込み、基礎を打設してください。

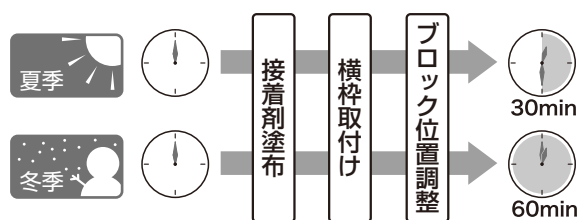
4. ブロック取付前の準備

4-1 作業時間の確認

ポイント

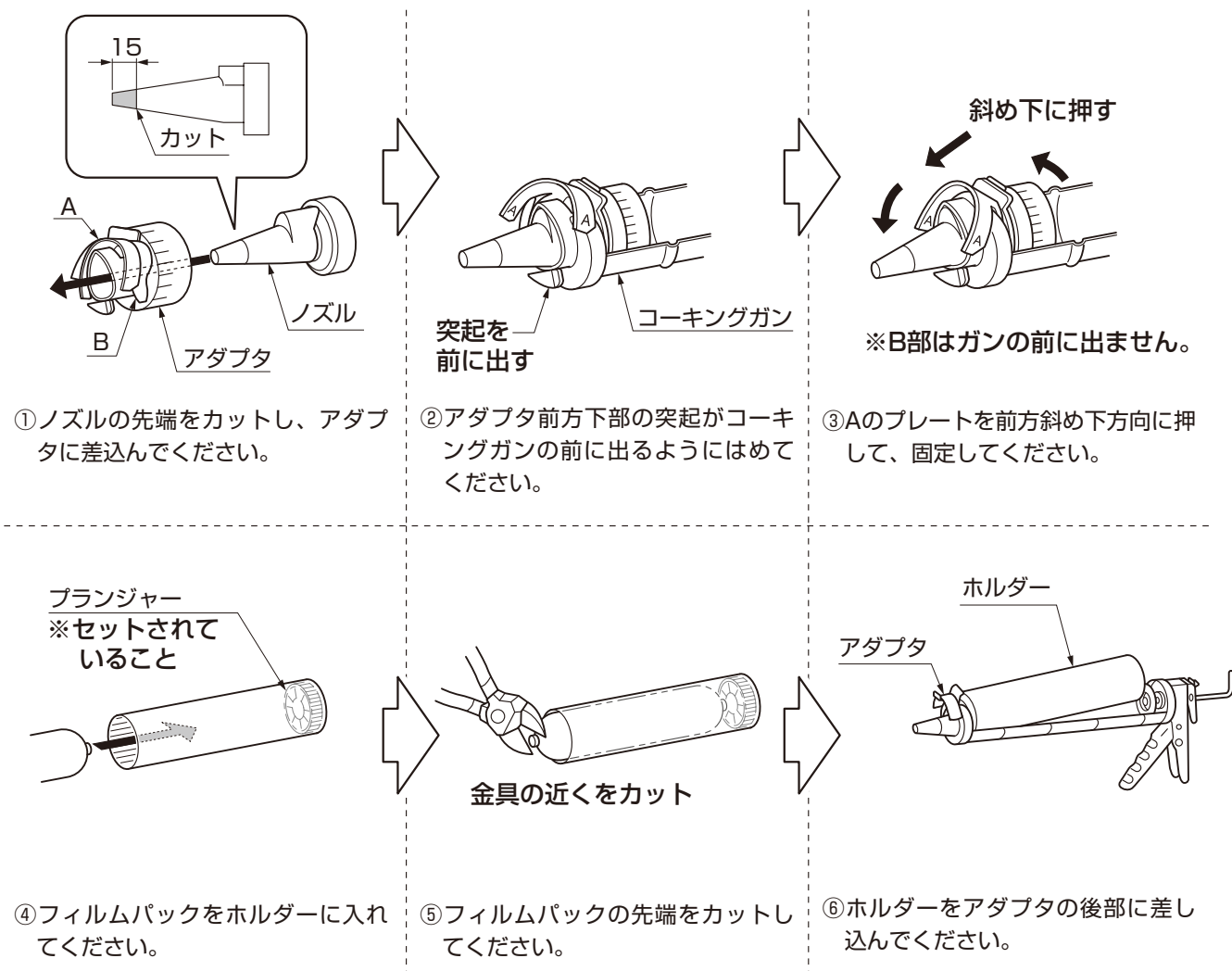
【作業時間の確認】

- 指定の時間内に作業を行ってください。
- 作業時間は、環境条件により変動する場合があります。
- 冬季の作業は5℃以上で行なうようにしてください。5℃を下回る環境では接着剤の硬化が遅くなります。



- 接着剤の貼付け可能時間（夏季約30分・冬季約60分）を超えて作業の中断をする場合は、ノズルを清掃または交換してから新しい接着剤を使用してください。接着剤を開封し、長時間作業を中断した場合、品質通りの接着効果が得られない場合があります。

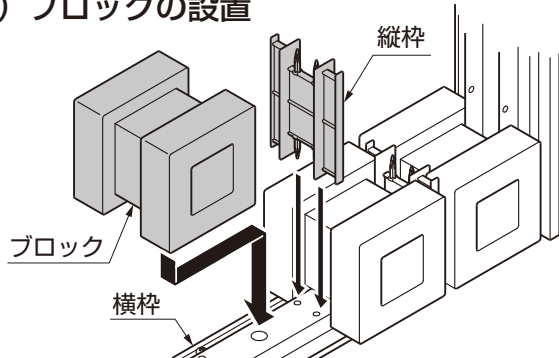
4-2 接着剤の準備



5. 本体の施工

5-1 ブロックの取付け

(1) ブロックの設置



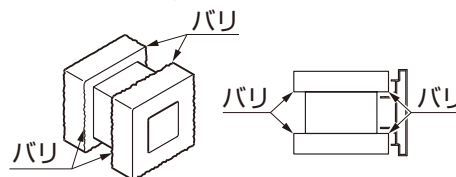
- ①縦枠のピンを横枠の孔に差込んでください。
- ②ブロックを横枠の上に置いてください。

⚠ 注意

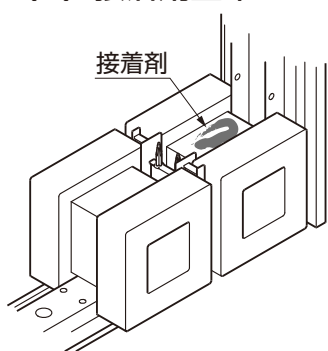
- ブロックのバリは鋭利になっていることがありますので、取扱う際には手袋等の保護具を着用してください。

🔑ポイント

- ブロックのバリが枠に干渉する場合、金ヤスリなどで除去してください。



(2) 接着剤塗布



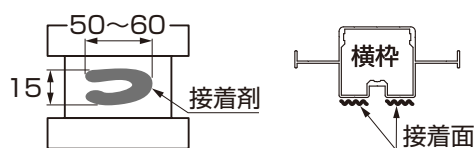
🔑ポイント

- 接着剤塗布面にゴミやホコリがないことを確認してください。

塗布面



- 接着剤はビード状にφ7程度の太さで塗布してください。



- ノズルの開口面を塗布面に密着させながら接着剤を塗布してください。

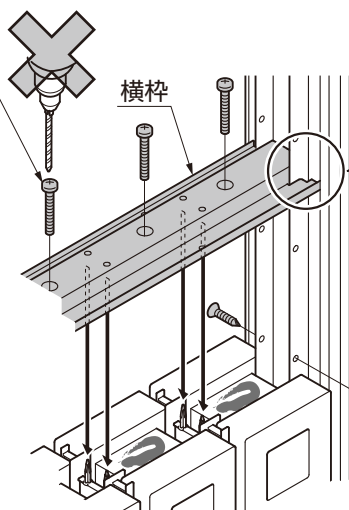
- ①接着剤をブロックに塗布してください。

(3) 横枠の取付け

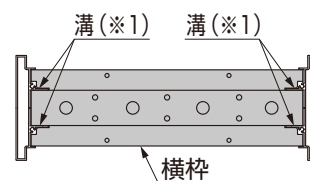
【1-3】φ5×30
ナベタッピンネジ3種

🔑ポイント

- 【1-3】はブロックを固定するためのネジです。ブロックが動かなくなったら締付けをやめてください。
 - 固定の際、電動工具を使用しないでください。【1-3】を締めすぎると、横枠が浮き上がり変形する可能性があります。
- [推奨トルク]
2.0N・m±0.5N・m (20±5kgf・cm)



🔑ポイント



【1-1】φ4×13サラドリルネジ

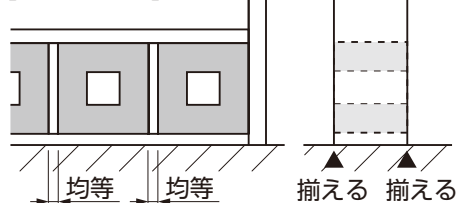
- ①横枠の溝(※1)を柱に差込んで回転させ、横枠の孔を縦枠のピンに差込んでください。
- ②横枠を柱に【1-1】で固定してください。
- ③【1-3】でブロックのガタがなくなる程度に締めてください。

🔑ポイント

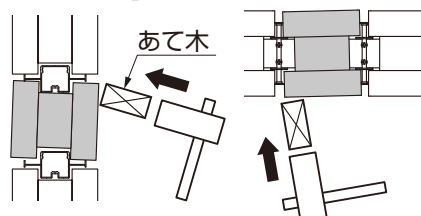
- ブロックを積み上げ、横枠が差込めなくなったら、仮固定した笠木ベースを外してください。

5-2 ブロックの位置・傾き調整

【位置の調整】



【傾きの調整】



ポイント

- あて木をし、ハンマーなどで少しずつ動かしてください。強くたたいたり、直接たたくと、ブロックが割れる可能性があります。

5-3 笠木の取付け

(1) 標準納まりの場合

ポイント

- 【1-3】はブロックを固定するためのネジです。ブロックが動かなくなったら締め付けをやめてください。
- 固定の際、電動工具を使用しないでください。
- 【1-3】を締めすぎると、横枠が浮き上がり変形する可能性があります。

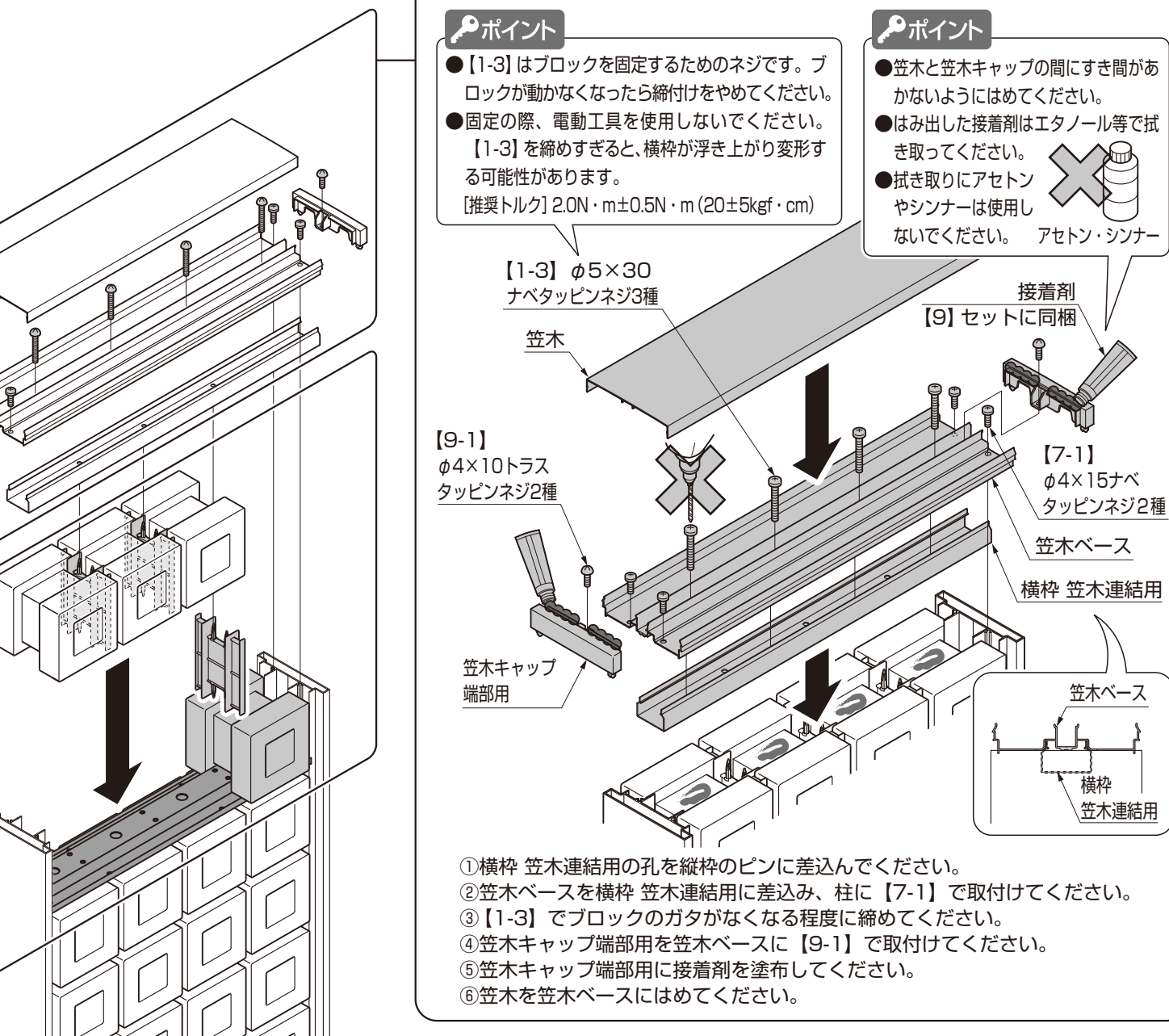
[推奨トルク] 2.0N・m±0.5N・m (20±5kgf・cm)

ポイント

- 笠木キャップコーナー用と笠木キャップ中間用の取付けは、P.14、P.15を参照してください。

ポイント

- 笠木と笠木キャップの間にすき間がないようにはめてください。
- はみ出した接着剤はエタノール等で拭き取ってください。
- 拭き取りにアセトンやシンナーは使用しないでください。アセトン・シンナー

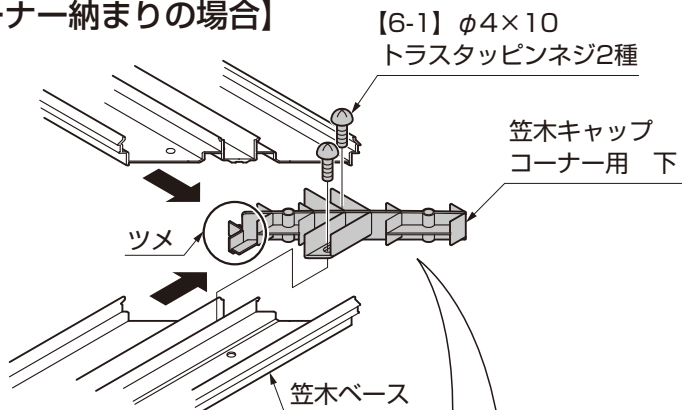


- ①横枠 笠木連結用の孔を縦枠のピンに差込んでください。
- ②笠木ベースを横枠 笠木連結用に差込み、柱に【7-1】で取付けてください。
- ③【1-3】でブロックのガタがなくなる程度に締めてください。
- ④笠木キャップ端部用を笠木ベースに【9-1】で取付けてください。
- ⑤笠木キャップ端部用に接着剤を塗布してください。
- ⑥笠木を笠木ベースにはめてください。

5. (つづき)

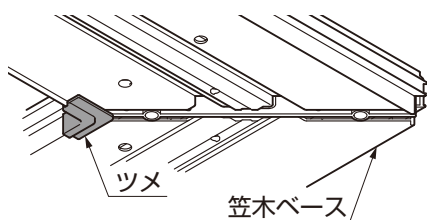
5-4 笠木キャップコーナー用、笠木キャップ中間用の取付け

【コーナー納まりの場合】

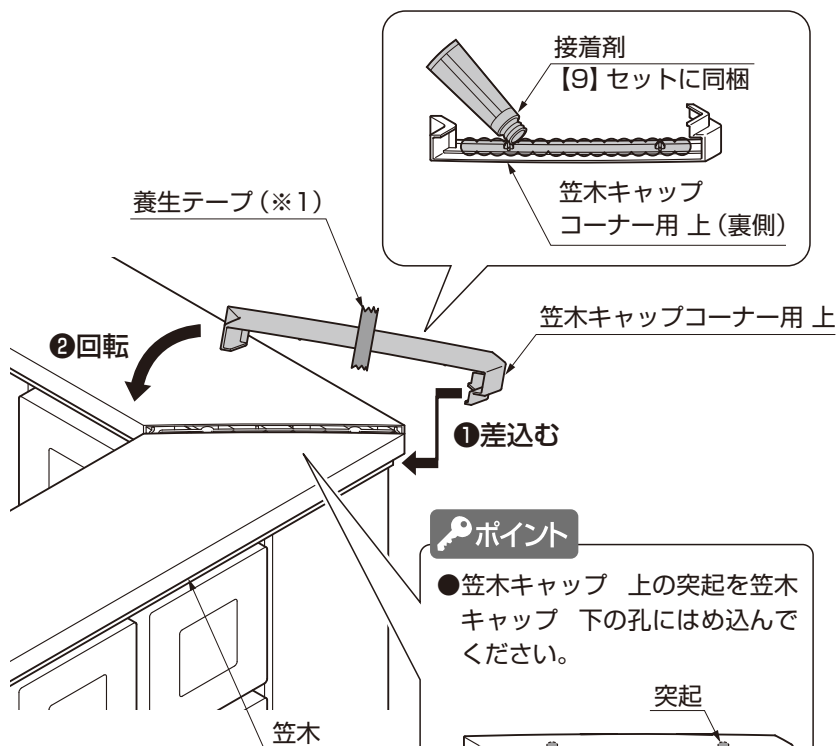


ポイント

- 笠木キャップ 下のツメが笠木ベースの下にくるように差込んでください。キャップが浮いたまま固定すると、キャップが破損する場合があります。

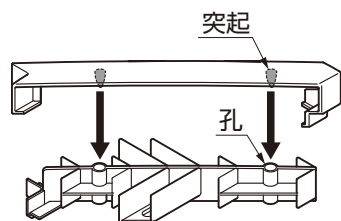


- ①笠木キャップコーナー用 下を笠木ベースに差込み、【6-1】で固定してください。



ポイント

- 笠木キャップ 上の突起を笠木キャップ 下の孔にはめ込んでください。



- ②「5-3 笠木の取付け」を参照し、同様の施工を行なってください。
- ③笠木キャップコーナー用 上に接着剤を塗布してください。
- ④笠木キャップコーナー用 上を笠木に差込み、回転させて取付けてください。

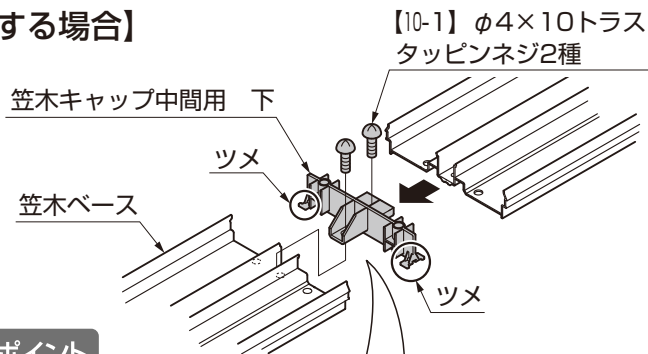
ポイント

- 笠木と笠木キャップの間にすき間があかないようにはめてください。
- はみ出した接着剤はエタノール等で拭き取ってください。
- 拭き取りにアセトンやシンナーは使用しないでください。



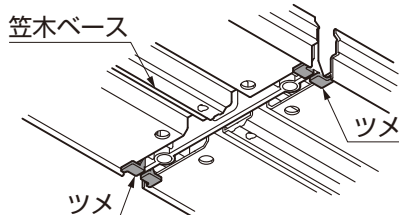
- ⑤キャップが固定されるまで養生テープ (※1) で固定してください。
- ⑥キャップの固定を確認後、養生テープを除去してください。

【連結する場合】

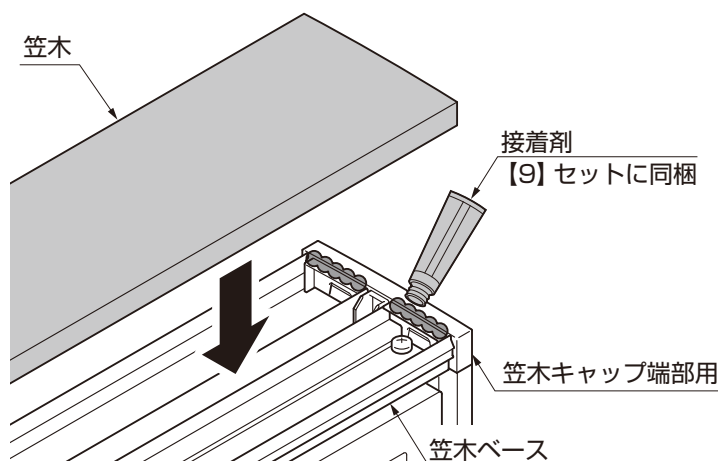


ポイント

- 笠木キャップ 下のツメが笠木ベースの下にくるように差込んでください。キャップが浮いたまま固定すると、キャップが破損する場合があります。



- ①笠木キャップ 下を笠木ベースに差込み、【10-1】で固定してください。



- ②「5-3 笠木の取付け」を参照し、手順①～④を行なってください。

- ③笠木キャップ端部用に接着剤を塗布してください。

- ④笠木を笠木ベースにはめてください。

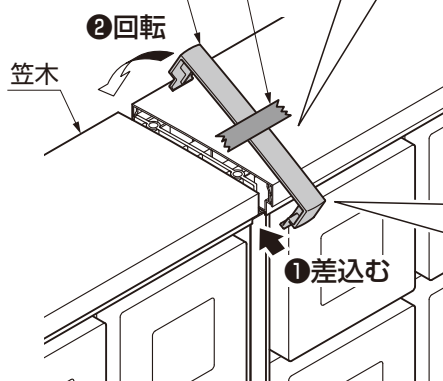
ポイント

- 笠木と笠木キャップの間にすき間があかないようにはめてください。
- はみ出した接着剤はエタノール等で拭き取ってください。
- 拭き取りにアセトンやシンナーは使用しないでください。



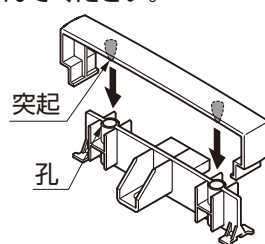
養生テープ (※1)

笠木キャップ
中間用 上



ポイント

- 笠木キャップ 上の突起を笠木キャップ 下の孔にはめ込んでください。



- ⑤笠木キャップ中間用 上に接着剤を塗布してください。

- ⑥笠木キャップ中間用 上を笠木に差込み、回転させて取付けてください。

- ⑦キャップが固定されるまで養生テープ (※1) で固定してください。

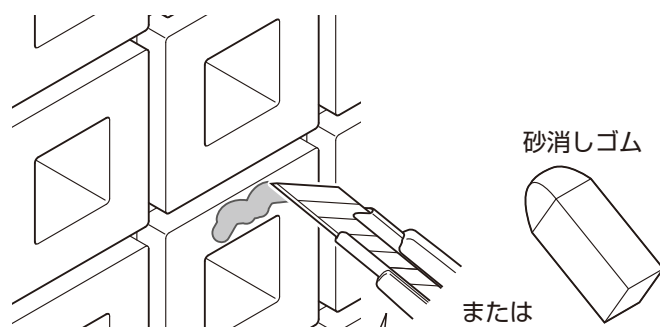
- ⑧キャップの固定を確認後、養生テープを除去してください。

6. 点検・仕上げ

ポイント

- 接着剤の硬化後、仕上りの点検を行なってください。

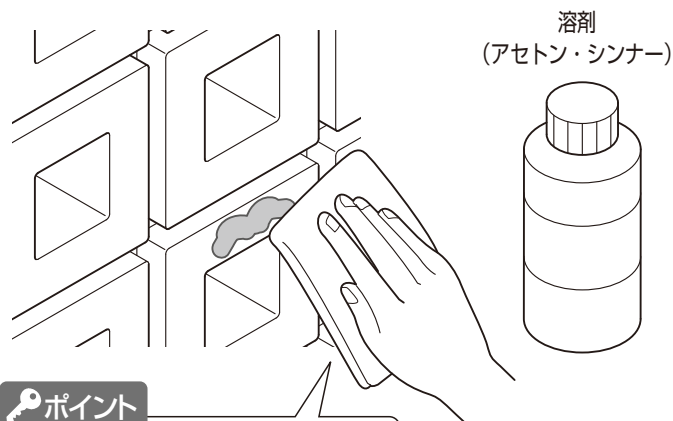
【表面に付着した接着剤を除去する】



ポイント

- 表面をキズ付けないようにしてください。

取れない場合は…



ポイント

- 他部材に使用する際は、事前に変色・変質確認をしてください。
- 溶剤の取扱いには十分に注意してください。

取説コード

B085

JZZ630219A
201502A_1039
201607B_1039